39

芸術千一夜
川柳二百年

栃木県立図書館

栃県立図書館[illegible]

栃木県立図書館

三菱日本重工業株式会社川崎製作所

ラジオ東京（夜 11.15～11.45）
芸術千一夜

前田タカ氏 寄贈

栃木県立図書館

三菱日本重工業株式会社川崎製作所

ラジオ東京（後 11.15 〜 11.45）

芸術千一夜

〃川柳二百年〃

司会　二の宮達郎

川柳研究家　山澤英雄

〃　山路閑古

○

○

達郎　今年は柄井川柳が前句附の点者として最初の万句合を興した宝暦七年から数えて二百年になります。現在の川柳というものは柄井川柳のいわゆる俳諧で新風に起こったものですが古川柳を学問的に研究して居られる山澤さん、山路

さんに、川柳の出て来たみちあら方につけて、柳壇の外から批判を仰ぎたい。[illegible]

川柳について

山路　江戸雑学　新堀に天台宗の龍宝寺というお寺があってその門前新寺町の町名主をしていた柄井八右衛門が、前句付の点者となって　立机披露したのが宝暦七年の八月のころ

だった。その八月二十五日を暦に新暦に直すと九月の十八日になる。

十月ではなきや

山路　この前句付の付句を選んで募集したのが一万句合たが

栃木県立図書館

三菱日本重工業株式会社川崎製作所

もちろん前の句附はいくら一万句合にしろ、これは元禄のころからあったものだ。

川柳

はじめ集ったのは二百七句で、そのうち十三句を勝句として刷り物にした。同じ年の十一月十五日開の集句は二千六百句を越え、はじめて二枚刷りにした。宝暦七年全体では一万七千句にもなっている。

句集部一番多かったのは。

川柳

これはずっとあとで、安永八年晩の二万五千句。この句附点者としては収月を中興の祖としているが、川柳も収月の「おかしみ」「面白味」というものを主にし、一領地を拓いていえか

栃木県立図書館

三菱日本重工業株式会社川崎製作所

らたらい人気があがつた。

8 雄市　それに川柳に人気があつたのは、集句がすべて江戸市中に限られていたからではないか。

9 山根　それもある。他の点者には、八王子からとか、さらに栃木や茨城といつた投句者もあつたが、川柳にはそれがない。

10 山路　点者は一の日、三の日といつたように、月に三日を開の日とする。川柳は五の日で、一月五日——例外もあるが——を初会とした。そして十日目十日目に刷り物が出た。

11 雄郎　川柳点が盛んになつたのには柳多留に負うところが多

栃木県立図書館

三菱日本重工業株式会社川崎製作所

いと思うが、それについて。

山路　柳多留によつて盛んになつたのは確かだ。前句附もだんだん句の形式が変つてきて前句~~も~~附~~出から~~よりも十七文字の独立短句としての性格をもちはじめた。これは俳諧の発句である俳句が独立したのと年代的にも似ている。蕪村は他の太祇などと発句しか作らなかつた。

デハナキヤ

夜郎　一の有名な柳多留を編む際は、すでに独立句と、その前句という語があつたと思う。中には一の有名なが解釈を変えて一句としたものがある。

前句附附句

山路　やがて作る際前句をはずす傾向になつた。

栃木県立図書館

山柳　出題は四題、その中の一つが無印で、あとの三題には△▲×の符号がついている。この符号が全部はずされたのは安永四年の末で、以柳が短句して独立した。

山路さて柳多留にもある句があつかというと初篇の最初に

五番目は同じ作でも江戸生れ

二番目に

かみなりをまねて腹かけやつとさせ

というのがある。あとの句は誰でも判るが、この句は一般には解釈出来ない。こういうふうに判る句、判らぬ句が半々で、一般の人は判る句だけを鑑賞すればよい。むずかしい方の句は、いわゆる古川柳学なる学問の研究対象となる。

栃木県立図書館

産節、柳多留には異本がある
か、それが例えば、松平定信の
寛政の改革といふものによる
弾圧の影響なのか、それとも自
發的なものか、さういふ点につ
いて。
山~~柳~~路以柳はもともと寺侍であら
編集出版についても、穏健な
主義だった。たとえば徳川吉宗
が読がるた（花札）を禁止したの
を更に天明七年松平定信が老
中となって厳禁を布告した。そ
の後は読がるたの句は全然
出て来ない。かういふことで、従
来の刊行書より不都合な句が
ある場合はそれをはずして改版
した。例えば初篇からも四句~~削~~省

いている。
役人の子はにぎにぎをよく覚え
といふ政治批判のもの
母の手をにぎって拒絶される
といふ風教上芳しからぬもの
つぼ皿の紙とはよほど学がたけ

社川崎製作所

栃木県立図書館

三菱日本重工業株式会社川崎製作所

No.

出て来ない。こういうことで往
事の刊行書も不都合な句が
ある場合はそれをはずして改版
した。例えば初篇からも四句~~除~~消

19

いている。
役人の子はにぎにぎをよく覚え
という政治批判のもの
母の手をにぎって拒遣しされる
という風教上芳しからぬもの
つぼ皿へ紙とはよほど当るがたけ
というバクチ用に関したものなどだ。
雀京、それは五代目川柳が天保の
改革に際して定めた川柳式法に
似ている。それに関連して川柳
には火事、ま騒動、大水というもの
ものを詠んだ作品がない。
さて川柳の没後、寛政三年以後
の川柳が次第に堕落してゆくか
これはエライ人を失ったという事

20

山路

~~中略~~

因ったろうか。
取締りの厳しさなどから現
実がうたえなくなった云
川柳没後
に来た寛政改革の影響が先ず見逃がし難い。
北辺の不[illegible]、海防の急、文武奨励などすべてアンチ川柳だ。

栃木県立図書館

山~~銘~~澤　句会形式の弊もあろう。どうしても句会では人目につく句を作くるようになる。それと、今までの指南の句合は、選者でかなりの地位の人の知識人も参加出来たが、句会で顔を合せるとなれば、そういう人は出向出来なくなる。

雀郎　そうした作者の手がかりというものは。

山~~銘~~澤　明和元年の柳多留に持主が仮作者名を書き入れたものがある。その中の"田安の君との"というのがあるが、これはおそらく田安家始祖の宗武だ。それから主扇という作者、この人の追悼の辞に"尊居"とあるのを考えると、大方徳川の一統中の

万句合

栃木県立図書館

人だろう。概ね雅号を使わず、ウタ印とかマツ印とか書いてある人は地位の高い人の遊戯と思われる。

要約すると、後の角力向合せというた形式になって出句者の顔ぶれが変るということ。それに朱楽菅江というような狂歌者流が実力を持ったことが、川柳狂句化への傾向を強めたことになると考えていい。

以後狂句となって明治に至り川柳を阪井久良岐、井上剣花坊という二人が現れて、[illegible]滴落でまい本来の川柳、柳多留に還れと説いた。とくに久良岐は明治三十八年柳誌「五月鯉」を刊行

栃木県立図書館

作句、古句研究の傍、街頭に出て川柳を唱え、また神楽坂クラブで古句の輪講などをやる。

雀郎　故久良岐は、川柳の趣向に偏れるものがある。つまり江戸っ子の粋とか通とかを尊重するあまり、庶民の嘆き、人間の姿というものを忘れがちである。川柳はもっと野暮でいいから人間を捉えるべきだと私などは主張して叱られたことがある。学する傾向打倒に終らずに、附句を前句から独立させた精神だけを生かして、もとの姿俳諧の本旨にかえることをもっと考えねばいけなかった。

山路　川柳家の方でも俳諧なども やればいいと思う。俳諧の中には有季の附句もあるから、柳人と俳人とが合同して歌仙でも巻いたら面白いものが出来よう。

栃木県立図書館

28

吉郎　それはいい。俳人の当今の俳諧はどうも雑の句がナッシでしまう。こういう中に川柳やらがまじえて作ればいいと思う。ところで最後に初代川柳の。

~~木~~木枯のあとで芽をふけ川柳

を後の人の偽作だという説があるが。

29

山路　花岡百樹が古川柳研究へ一寸書きかけて中絶してしまったんが残念だと思う。

30

吉郎　おかげ様で現代の川柳も芽を吹いているが、こんご古川柳ばかりでなく、新川柳のほうも叩いて頂きたい。ありがとうございました。

栃木県立図書館

No.

川柳二百年、
仏柳の旅路、
万句合や、
柳多留、
川柳の独言、
万句合や摺物の作品、
出典考、

㊟ ㊡ ㊨ ㊟

重

㊨ ㊡

七千句も集まつて居ます。最大の万句合といふのは安永八

栃木県立図書館

（礎）柳樽拾遺、又柳多留、柳川傍柳
中或いは、末摘花、

（開）定以前と以後、

（隆）狂句以外、
柳風式法、
柳号と狂句の相違、
川柳復興、

（閑）新旧作と古句、

10×20 3.3.3.

No.

口上、

今年は柄井川柳が、万句合の點者として立って、最初の万句合せの開き、つまり選句の、発表せられた宝暦七年（八月二十五日）が、満二百年に相当いたします。

今、川柳という名に呼ばれておりますものは、この柄井川柳によって立てられた此種の詩形を申しておりますが、つまりは川柳興って二百年ということに相成ります。

それで本日は、この文芸はこうして興って、どういう歩みをして今日に至ったかをたずね、この

七千句も集まって居ります。最大の万句合というのは安永八

栃木県立図書館

経済[illegible]まで議論[illegible]作品をつくような話も
のをひびかし、その地方から新たに生まれて来るものへみ
ることを思ってゐるからです。
山陽地方も、山崎[illegible]も、あり柳をやつても
のを学問的におやりになって、それぞれ作家
うけ[illegible]、雑誌で出てゐる柳誌というものの
団体にあるなが、これらのことに触れて活躍な
[illegible]動を続けられることを期待してゐるからです。

鋼管・川鉄　正木　長

目をつむりスト賛成の票を入れ

別府化学　川原　正史

先生がお嫁に行くを不思議がり

三菱鉱・飯塚　久恵田句研坊

配転の情報聞きつ入坑し

鋼管・川鉄　若柳　郁史

思い出のやさしくさそて慰ぐみ

宇部鉱・沖の山　上杉　雪峰

栃木県立図書館

七千句も集まって居ます　最大の不る合と思ふのは安永八

（　　）

⑱山路ノ項ニ附加シテ、

この初篇改版については面白いことがある。

右の三句を削った後に補充した句は、いずれ柳多留二十三篇（寛政元年版）の句であるところから、この改版が川柳逝去直後に行われ、いわゆる川柳ブームの波にのって、初篇の改装出版が企てられたのではないかとも想像される節がある。世に著者が死んで評判になると、旧著の再版が出ることは、昔も今も変らない。

パチンコにすって募金に思う道

日本セメント・山我朗　武田西路秋

下戸の友ひとつで飲んだ顔で確し

長崎屋　小寺生云

作業着をつくろう妻は船をこぎ

栃木県立図書館

書き入れ

⑤山谷　川柳が初めて万句合を興行したのは八月二十五日ですが　此の時に集った句数は僅か二百七百句。　二百七百句で万句合とは　おこがましいが　當時[illegible]前句附の刷物には誰も万句合と記して居たので致方ありません　この時の番勝句即ち入選句が十三句です　當時の先輩連はどうかといふと　南華坊三千五百　如露二千　儀山三千　收月三千八百　[illegible]　桃女三千二百　といふ句を集めて居ます　川柳にしても十一月十五日開きには二千六百句を越えて　刷物を二枚にしました　此の年一年の寄句は一万七千句を越えて居ます

6　寶暦

7　明和　寶暦十二年十月十五日開きには一[illegible]句とはじめて一万を越突破して居ます　明和四年には相印義と禮の二回とも二万句を突破し　義は十枚　礼は十一枚の刷物を發行して居ます　此の年は三十三年間のうち　最も寄句の多かったはず　約十三万七千句も集まって居ます　最大の万句合といふのは安永八

栃木県立図書館

三百万句位になるでせう

㉓ 山路 は 山谷.
明和元年の柳多留 ↓ 万句合
五扇といふ作者、この人の追悼の辞 追悼句合

㉔ 山路 の次へ
山谷 花岡百樹さんの説には久良伎 東魚氏が反対しました
が頴原さんは 偽作のやうである と云って居られますね.
武玉川二篇に 編者紀逸の句で
木枯や眼につけて吹く柳樽
といふのがあります 柳多留は武玉川を範として編まれ
たもので 川柳が此の句を全然しらなかった筈はないと
思ひますので 私も疑問符を打てたいですわ.

栃木県立図書館

（　　）

年の相印礼で二万五千余句 この時の勝句が六六〇句 柳多留にて一冊分位が勝句になった訳です 天明に入ると寄句の数は減って居るのですが 五年には一回に一万八千五百に達してゐるのもあります 現在判明して居る分では一万句以上の開きは七四回あります 明和二年安永三年の万句合が完全に在ると恐らく八〇回になるでせう。

~~[illegible]~~

⑨ ~~寄句もありません 他の寄句は八王子から 或は下州 常州などからの寄句もありますが 以東は地方からの句も集って居ります~~

~~佃島~~寄句もあります 他の寄者には八王子からとか 下野常陸などからの投句があるが 以東は地方からの投句を受付けて居りません

兎に角 現在判明してゐる万句合で一二七三枚 勝句~~数~~数二四〇万句 春期枝から組連句集になって居るものを入れると

栃木県立図書館

栃木県立図書館

栃木県立図書館